

伊佐市立中学校再編成保護者意見交換会（羽月西小校区）	
日 時	平成23年12月1日（木） 午後7時00分～午後8時30分まで
場 所	羽月西小ランチルーム
出 席 者	学校教育課長・事務局 参加者 13人
<p>○ 会長 感じておられることや聞いてみたいことを出させていただきたいと思います。最終的な決定は今の説明でもありましたように議会の議決であります。ただ、今教育委員会として再編成についてその方向に向かっている状況であります。皆さんの意見が反映できればと思っていますので意見を出させていただきたいと思います。</p> <p>○ 説明の中で当分の間は混在であると案をいっておられるが最終的には準備委員会で決めるとあるが、その準備委員会は議会で議決をしたあとの立ち上げられるということですが、準備委員会で細かいことは決めていかれることになるんですが、議決をしたあとに例えば制服を買ってくださいということになった時に、もう反対しようがないと思うのでその準備委員会までにそのあたりの方向性は出ないのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 制服とか体操服は最初教育委員会の中では混在を考えていました。ただ、協議会でも要望が出ておりますので、方向性について保護者の負担を伴わない方向で、早い段階での導入が良いのかそれとも混在させるほうが良いのか準備委員会で話し合いをしていきたいと思ます。 <p>○ 統合決まりましたよ。となってから準備委員会で細かいところは決めることになるんですね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 決定でないことを進めていくのかと言われますので、27年に再編成するということを議員さん方にもご理解いただき議決をいただいて準備委員会を作ることによって、保護者が不安に思っている細かいことまで話し合い、多くの方々の納得のいく方向性を見つけて進みたいと思っております。 <p>○ スクールバスについて、夏休み、冬休みに部活をする生徒はどうなるんですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休み等のスクールバスの運行についても準備委員会で話し合いをいたしますが、スクールバスを運行しないということは無いと思ます。 <p>○ 決まってから準備委員会で決めるということですね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 27年の生徒の分布状況を把握して、安全面を考えたスクールバスの運行にしていこうと思っております。 <p>○ 準備委員会でいろいろなことが決まることになるんですが、例えばスクールバスが今までと違って不便になる、保護者の意向に沿わないものになると再編成しても何にも良いことが無いとなって反対だとなっても、それも準備委員会で決まるわけだから、もう決まった後に出てくるんですよね。そういう不満というのは。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ だから、そういう不満を解消するために準備委員会でよく話し合いをして100%に近くなるように合意形成をして、保護者・生徒が安心できる再編成になるようにしていきたいと思 	

- います。スクールバス等の利用についても今よりも利用しやすい体制を作りたいと思っています。
- ・ 部会について、小学校代表者に出てきていただいて、その代表者の方に保護者の意見が集約できる体制を作っていこうと思っております。
- 27年に再編成になると、1年違いで兄弟で卒業する学校が違うことになる。そのことに対して、子どもにちゃんと説明しなければならないので、
- ・ 議会で正式に決定されれば27年度になると思います。そうなりますと3校とも閉校することになります。27年度に新しい学校を開校することになります。兄弟のいる方は山野中・大口中・大口南中で違う中学校を卒業ということになります。ただ、年度をどの時点にするのかというのを決めないと再編成に向かえませんのでご理解いただきたいと思います。
- 旧大口市に中学校が一つしかないということに対して恥ずかしくないのか。教育委員会として。また、小学校は残すということですが、小学校を残してもその近辺に中学校がないと人は離れていくと思う。地域が寂れていくことに対して市の考えは無いのか。それで良いと思っっているんですか。
- ・ 中学校が一つになることに対しては市民説明会でも言いましたように、どうしても中学校には専科の先生が必要であるという基本もあります。中学校は学級数で先生の数が決まります。中学校は専門の先生が教えることで高いレベルの教育が出来るということで、教育委員会として生徒により質の高い教育を受けさせたいということと、また、同じ伊佐市内の中学生に均等な教育を受けさせたいということが今回の再編成の出発点であるということをご理解いただきたいと思います。地域の衰退についてはある意味一部あるかもしれませんが、そこは小学校を残していくことで地域コミュニティと小学校の連携により西校区に住んでもなんら不自由はないという地域を作っていくことを、また、中学校が無くなっても伊佐市全体が均等に発展していくことを市の施策として目指していかなければならないと思っております。
- 人数が多い学校で学力が上がると思っておられるかもしれませんが、人数が多くて例えば100番目の人が上にいけると教育委員会として思っているか。必ず教育は上に合わせるがどうか。
- ・ 中学校は多感な時期でもあります。生徒同士のふれあい、生徒と先生とのふれあい、そういうことも大事になります。伊佐市内の子どもたちは小学校も小規模校のところがたくさんあります。そのような中で中学校に進んでいきます。そして、高校、大学、社会に出て行かなければなりません。中学校生活は人とのコミュニケーション能力をつける非常に大事な時期であります。ですので、中学校はある程度の規模が必要であるということも今回の再編成の目的でもあります。
 - ・ 地域が廃れていくことについて、確かになくなったところは淋しくなっていくことはあるかもしれませんが。ただ、ここで大事なことは、小学校はそのまま存続させるという方向を市長が示しております。中学校の学力は大きい、小さいは関係ないです。そこにいる先生方がどれだけ情熱を持っているか、また、保護者の協力くださるかに依ります。大規模校・小規模校関係ないと思う。ただ、中学校の先生の立場で考えると、高校、社会とその生徒が進んでいく先を考えると、その時にやはり中学校は9教科あるんですが、専門性のある先生に習ったほうが良いと思います。それぞれの先生の資質はあることは否定できない。今までの経験

からいったとき、せめて各学年2学級以上あってクラス替えができる環境が欲しいと思います。また、中学校は9教科あり家庭と技術は別々の先生が必要でありますので10人必要になります。小さな学校はどうしても先生が足りなくなります。そうすると他の教員が臨時免許を取って教えることになる。当然先生方は努力して教えますが専門でないため専門の教員以上のことは教えられません。そういう意味では子供たちに申し訳ないと思う。一番大事なことは生活力だと思う。人間性を養うためにはやはり生徒同士の切磋琢磨は必要である。

- 少人数学級が良いと言う先生方が多い。この理論でいくと専科の先生方がいないということでも再編を決めたということですが、小規模の学校でみんなが見守っている中で、先生と生徒のふれあいが大事にされながら教えて欲しいという考え、二通りあると思うんですがそこを決めるのは親じゃないかと思うんですが。教育委員会は専科の先生が教えたほうが良いということですが。
 - ・ これは学校教育法にもありますように子供たちは学習権を持っていますのできちんとした教育を受ける、親は受けさせる義務がある。そういうことでやはり中学校の場合は特にしっかりと免許のある先生に教えてもらう環境が必要であると思う。
- 臨時免許を持った先生であっても学力はきちんといると思うが。
 - ・ その学力が専科の先生が教えることによりまだまだ伸びるのではないかと思う。
 - ・ 少人数はどれくらいが良いかということは誰にも言えないのではないかと思う。今度初めて文科省が20人・30人・40人学級を検証しようということを行っている。今まで少人数が良いとっているが、少人数にして本当に学力があがるか、ということは何も検証されていない。人間性とかコミュニケーションを見て子供の一人ひとりの長所を伸ばすことができる体制にするほうがよいと思う。
- ゆとり教育で1週間の時間を減らしたことが問題になっている。学力が落ちたことはこのゆとり教育がもたらしたということで問題になっていると思う。今度の再編成もそういう後になってから問題が出てくるのではないかと心配する。
 - ・ 新聞でも出ていたと思うが山野中はもう限界であるという意見も協議会ででた。その中で実施計画が曾木小・針持小を菱刈中ということであったのでそれなら伊佐市で一つの中学校を作るべきという意見が出された。しかし、財政状況等からすぐに一つの中学校にできないということで、大口南中と山野中・大口中を一つの中学校に再編成したほうがよいということになった。今度の再編成も後になって問題が出てくるのではないかと心配されると思うがそれがないように教育委員会・学校・生徒・保護者が協力してそうならないようにしていきたい。
- 今度の再編成で菱刈中はそのままになるので今度の新しい中学校と比べると先生が少ないということになるが。
 - ・ 資料により説明。菱刈中は平成27年度今より学級数は多くなる。また、平成34年までは今のところ2学級以上を維持できる状況になっている。先生の本数は今度の仮称大口中央中に比べると少ない状況ではある。
- OBの方の声がこの再編成について少ないと思う。自分の経験からいうと、小学校が小規模校であったので南中に行ったときみんなと協調することができずらかった。心配したというこ

とがある。ある程度学校が大きくないと自分の体験からいうと子供のためには良いのではないかと思う。確かにマイナスの面はあると思うが総論からいうと、いろんな同級生先輩などがいる中で切磋琢磨されることが、たとえば高校に進学する大学に進学するそして社会に出て行くそういう中でへたり強さそういうのが明らかに違うように思う。再編協議会でそういう方々の声が聞こえなかったという思いがある。いまさらどうしようもないことだが、南中でアンケートを取られたが本来であればちゃんとした数値とか情報とかいうのがしっかりと伝わっていく中で、この再編成の判断をしてもらわなければならないのかと思う。今日の意見交換会の趣旨は再編になったときの保護者が抱える不安等についての話になるべきであるのが、まだ、それぞれの地域においてなぜ再編成をするのという一步逆戻りした話でなっている。確かに最終的な判断は別のところではあるんですが、こういう意見交換の中でこうして欲しいとかいう意見が出るべきだと思う。たとえばスクールバスや制服のことにしても準備委員会や部会で P T A の意見を十分意見を反映してもらい、特に今回の再編成協議会の中ではコミュニティと P T A とが議論して P T A の意見を尊重した形の意見書の提出のなったということ傍聴している中で知りえた。前向きな話の中で再編成することの是非を議論するべきであったように思う。あくまでも傍聴する立場であったのでそれは言えなかった。今日のこの意見交換会は、今の保護者が持っているイメージが、私たちみたいに子供を育てたあげた人たちの意見も聞く中で議論を深めて欲しいと思う。だから、今言われるように音楽であったり美術であったりそういう専門教科を含めて、そういう専門性を持った方でないといけないのではないかと思う。それと、期限付きの先生は1年間の契約であるので保護者の立場からすると不安である。子供は平等に教育を受ける権利がありながらそういう差別を受けなければということについては県の P T A の役員の時にも発言してきた。

- ・ 期限付きの先生方についてはそういう考え方もあるんですが、次の年もその次も雇ってもらうために一生懸命に頑張っている。親の方からすればそういう思いはあるかもしれませんが、本当に一生懸命に頑張っているのもので大丈夫だと思います。
- 小学校から中学校に入っているいろいろな性格を持った子供たちがいる。精神的な強さがないために対応できない子供もいる。
- ・ 今回のこの意見交換会は、正式に決定してから準備委員会に入ることになるが、その前に保護者の方が不安に思っていることについて、準備委員会までにそれに対する資料をそろえて、このような問題が提起されていますのでこれについて話し合ってください。というように早めに対応することで保護者の不安を取り、再編成をスムーズに進めることができると思っております。27年度再編成とするとどうしても24年度中に決めて、25年度から3校同時に一緒しなければならないことがある。そこで保護者の方が不安に思っていることを出していただいて、そういうことを早めの話し合いにより解消して再編成したいと思っています。
- スクールバスは基本的にこの羽月西小の前での乗り降りになっていた。今後も子供たちが安全に待ってられる場所で行っていただきたい。
- ・ 子供たちにとってどうすることが将来良いのかということまで含めて検討いたします。
- 今度3校が一緒になったとき、子供たちが落ち着くまでは、教頭等を増やしてメンタル面等についてケアしていただけないか。

- ・ 大きな学校で教頭先生を二人置いている学校はあります。教育長も前にお答えしておりますがカウンセラー面について充実することは考えていかなければならないとは思っております。
- 今回市の支援センターができるということですのでそこら辺りとも合わせてやっていただきたい。生徒や保護者の悩みを聞ける体制を取っていただきたい。
- ・ この間の市民説明会で市長もトータルサポートセンターとの連携も言っていますので、生徒のメンタル面等に負担とならない体制を、教育委員会と学校と連携して取り組んでいきたいと思えます。
- できれば教育委員会の中にホットラインのような相談窓口を作っていただけないかという要望があった。

以上